

# 円陣～エンジン～



令和2年 6月 15日

根獅子小 校内研修通信 No2

文責 松田 優子

梅雨入りし、降り続く雨。気温も上がり、じめじめとした高い湿度の中、子どもたちも大人も体調には気をつけていかなければならない季節を迎えました。…私が言える立場ではないですが。

今月から始まった「ねっ子タイム」も軌道にのり、子どもたちも毎週楽しみにしているようです。井上先生を中心に、子どもたちに「ねっ子タイム」意義をつたえ、その意義を理解した子どもたちが、それぞれに友だちにどう関わろうか考えながら活動をしている様子が見られます。これからの活動と活動を通しての子どもたちの変容がとても楽しみです。

さて、先週の木曜日は、3・4年生の算数科の研究授業でした。お忙しい中参観していただきありがとうございます。授業研究会での内容をまとめていきたいと思えます。

## 【授業者反省】

3年生：課題のレベルが高かった。 図をつかう良さが伝わらなかった。 まとめまでいけなかった。

黒板に寄って話し合いをしていたがどのようにその流れになったか不明。

拍手・うなずきが見られよかった。

4年生：3年生の導入に時間がかかったが、自分たちで進めていた。子どもたちだけでの見通しだったので、明らかな間違いをしていた。YくんがAさんの助言をもとにひらめいていた。

ヒントカードをつかって説明ができ自信となったのでは。

3人のまとめを作る活動に付けなかったため、3人ともが参加できていたかを確認できなかった。

3つの視点【共】と【存】が概ねできていたと思う。

## 3つの視点による話し合い

### 【1人1人の考えや思いを大切に、考えを持つことができたか】

- 導入の工夫・前準備の充実・ヒントカードの必要性
- 問題からめあてまでの見当がついていなかった。
- 4年生…はかる角度をもっと明確に。
- テープ図を使ってもよかった。「重なり」をどうするのがポイント。
- 図のミスディレクション…子どもたちの勘違い。
- 自分の考えを記入するとき周りとの違いを不安視していた子あり。

よかった点・・・準備、教師がつかない時の手立て

改善点・・・問題把握、解決の手立て

※ 子どもたちにしっかり自分の考えを持たせるためには…という視点で授業を作っていくことの大切さを改めて感じました。導入の工夫・前準備はもちろんのこと、ヒントカードの精選や問題把握を十分にできてから子どもたちに任せる必要があります。特に複式では大切にしていきたいところだと再認識しました。ご指導ありがとうございました！

## 【お互いの考えを認め合うことができたか】

- Aさんの見通しがよかった。●もう少し全体に広げておけば・・・
- Sくんが前日の学びを生かそうとしていた。
- Aさん→「Sくんの考えの良いところがありました。」という発言が素晴らしい。
- 振り返りの場面で、友だちの意見に対する振り返りが多かった。
- Yさん,Rさんの発言に対して、拍手が自然にできていた。「わかりやすかった」という賞賛の発言。
- Hくん,友だちへの声かけが随所に見られ成長を感じた。
- 4年生 3人の話し合いになっていない。全員参加を目指す。

よかった点・・・学習感想での視点作り,友だちを認め合う視点,寄るスタイル。

改善点・・・全員参加でまとめる,全員参加の学習を。

※ 自分が授業をしていて見つけれなかった子どもたちの良さをたくさん見つけてくださりありがとうございました。授業公開を通して児童理解を深めることができること,これこそ研究授業の醍醐味なのかも知れません。「子どもを見る」という視点。今後も1人1人の子どもたちの学びを見るという視点で研究を進めていきたいと思えます。

全員参加の授業は,3年生に対しては,昨年度から言い続け,まだ課題は多いですが,やっと少しずつ実を結んできたように感じています。「みんなでわかることが大切」ということを常に伝えていきます。そのためには友だちの意見は聞かないといけないし,間違いは遠慮なく正さなければならない。友だちのノートは自分のノートと同じようにしっかりと見るように伝えていきます。学力差の激しい学年もありますが,この考え方は全校で共有していけたらと思えます。ご指導ありがとうございました！

## 【意欲的に学び,主体的・対話的な,学びができたか。】

- 4年生・・・自分たちで進めようとする姿勢がよかった。ガイドが自分の考えで学習を進めていた。
- 3年生・・・時間設定を自分たちでしていた。「5分で終わらなかったら,7分です。」
- Rさんが,「前に寄ろう」と授業形態を自分たちで変えることができた。
- 3年生・・・時間の設定の感覚をもっと磨く必要性。
- 3年生・・・図をつかって考えるなら説明部分でも図をつかって説明するべき。
- 3年生・・・深める場面,友だちの考えが明らかに間違っていたときも「良いと思えます。」  
条件反射的になっている。

よかった点・・・学習に対する意欲は見られた。反応もよい。

改善点・・・自分の考えを効果的に伝える方法の研究。

※ 「授業の中でもっともっと対話をさせたい」という思いで授業をしています。そのためには,自分から関わりたいという教材の開発や自分から関わりたいという友だちとの関係づくり,教師との関係づくりが必要だと思えました。また,それを実現する資質や能力を日々の授業の中で作っていくことも大切だと感じました。ご指導ありがとうございました！

4年生 S くんのこと。普段は自分なりの考えを持ち学習に参加できます。だからこそ,自分で説明できるだろうと,説明のためのヒントカードは渡しませんでした。今回の授業に関しては,少し不安があったのでしょうか。安心して発表するためにヒントカードを渡すべきでした・・・私が他の子に渡したヒントカードに何を思ったのだろう・・・。まだまだ自分の子どもを看取る力のなさに猛省しました。精進いたします。